

建設業の役割等伝える

平田建設 高校生受入協力

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)25日から27日までの3日間、土幌高校のインターンシップに協力した。参加した2年生の渡邊翔哉さんが農業農村整備や高規格道路、建築工事現場などを訪問。地域の産業や暮らしを支える建設業の役割や、現場全体を

管理する施工管理の仕事について理解を深めた。

初日は社屋で建設業の役割などについて説明を行ったあと、土幌町や土幌町の直轄農業農村整備の現場を見学した。

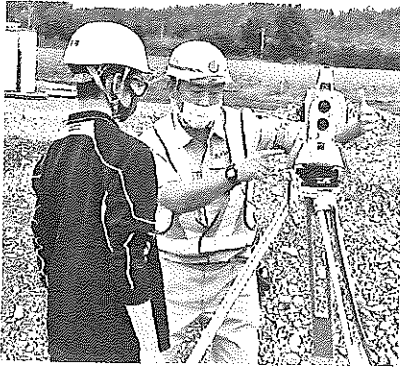
2日目は、大樹町で「帯広尾自動車道大樹町大樹北改良」など高規格道路整

備2現場を訪問。ICT施工について紹介し、施工箇所を見学。レベルやトータルステーションなど測量機器の使い方を指導したほか、竹市友彦土木課長が安全管理や工程管理といった施工管理の仕事について解説した。

竹市課長は「建設業とい

る仕事。少しでも興味をもってもらいたい」と話した。最終日は、帯広工業高校大規模改造など建築現場を見学。3日間で様々な工事を目にし、地域の産業や暮らしの発展に寄与する建設業の役割の大きさを学んだ。

うと重機の操作といったイメージが強いかもしれない」としながら「現場に仕事する人や工程などを管理する施工管理という仕事を知ってほしい。本人のやる気さえあれば誰でも活躍でき



測量機器を体験する渡邊さん(左)